



HEIWA PAPER



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9929 URL <https://www.heiwapaper.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 和田 学 TEL 03-3206-8501  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,716	△0.9	47	△7.8	80	△5.2	38	4.2
2024年3月期中間期	7,787	1.0	51	69.6	84	68.6	36	△95.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △61百万円 (-%) 2024年3月期中間期 352百万円 (△59.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	4.07	—
2024年3月期中間期	3.90	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	17,766	9,979	56.2
2024年3月期	18,834	10,098	53.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 9,979百万円 2024年3月期 10,098百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2025年3月期	—	6.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	4.2	165	4.4	235	5.9	143	4.9	15.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	10,116,917株	2024年3月期	10,116,917株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	657,395株	2024年3月期	657,395株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	9,459,522株	2024年3月期中間期	9,459,522株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しておりますが、一方でウクライナ情勢・中東情勢の長期化、原材料価格や物価の高騰、海外経済の減速懸念等の影響により、景気全般の先行きは不透明な状況が続いております。

紙パルプ業界におきましては、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う価格改定による需要の冷え込みは依然として続いており、紙・板紙での国内出荷量(日本製紙連合会発表の速報値による)は、前年同期実績を下回りました。

このような中で当社グループは、主力である高付加価値特殊紙の販売強化、需要の見込める高級パッケージや各種機能紙分野への注力を進めました。紙素材が、木材由来のカーボンニュートラル性を持つバイオマスであり、脱炭素、脱プラ、SDGs等の社会要請に合致するという優位性を生かし、該当分野での新規商材開発を進めるとともに、展示会、商品説明会、SNS等での情報発信に注力し、ブランドの認知拡大と新規需要、顧客の掘り起こしを強化しています。また、今年度より紙や素材の新たな価値創造や市場開拓を目的とした事業開発部門を創設、新規の顧客及び需要の獲得に動いています。その中で強みである特殊紙販売での知見を活かし、紙周辺の特種素材への展開を視野に入れ、事業エリアの拡大を図りました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高77億16百万円(前年同期比0.9%減)、経常利益80百万円(前年同期比5.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は38百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。詳細は、P10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」をご覧ください。

#### <和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、個人消費の低迷や、印刷・情報用紙分野での情報伝達媒体のデジタルシフトによる構造的な需要縮減の影響が大きく、全体としての販売数量は減少しました。販売単価の上昇や各種事業推進施策により、主力である高付加価値特殊紙の販売金額は堅調に推移しましたが、全体での販売数量の減少をカバーできず、売上高は80億30百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は34百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

#### <不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、子会社の平和興産(株)が倉庫業務を新規に受託したことにより賃料収入が増加し、売上高は12百万円(前年同期比30.2%増)、営業利益は10百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

(参考)

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	1,613	22.2	1,661	23.0	2.9
ファインボード	968	13.3	952	13.2	△1.7
高級印刷紙	1,703	23.4	1,699	23.5	△0.2
ベーシックペーパー	1,974	27.1	1,835	25.4	△7.1
技術紙	928	12.8	992	13.7	6.8
その他	94	1.2	81	1.2	△13.6
合計	7,284	100.0	7,222	100.0	△0.9

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、販売促進活動の継続効果もあり、パッケージや商業印刷、出版用途が堅調に推移したことにより、売上高は16億61百万円、前年同期比2.9%の増加となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、菓子食品・化粧品等の高級パッケージ向けの販売は増加しましたが、商業印刷用途が減少し、売上高は9億52百万円、前年同期比1.7%の減少となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、紙製品用途が堅調に推移しましたが、商業印刷用途や書籍向けの販売がわずかに減少し、売上高は16億99百万円、前年同期比0.2%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、紙器用途が堅調に推移しましたが、書籍向けや商業印刷用途が減少したことで、売上高は18億35百万円、前年同期比7.1%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、偽造防止用途や耐水撥水性機能紙の販売が減少しましたが、選挙需要等もあり合成紙の販売が堅調に推移したことで、売上高は9億92百万円、前年同期比6.8%の増加となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売及び製紙関連資材、紙加工品の販売が減少し、売上高は81百万円、前年同期比13.6%の減少となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10億68百万円減少して、177億66百万円となりました。主な要因は、有形固定資産3億15百万円が増加したものの、現金及び預金4億35百万円、受取手形及び売掛金4億57百万円、電子記録債権3億57百万円、投資有価証券86百万円が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて9億49百万円減少して、77億86百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金7億33百万円、電子記録債務49百万円、賞与引当金74百万円が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億18百万円減少して、99億79百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金72百万円、為替換算調整勘定28百万円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2025年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	16,800百万円	(前期比	4.2%増収)
営業利益	165百万円	(同	4.4%増益)
経常利益	235百万円	(同	5.9%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	143百万円	(同	4.9%増益)

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,839,348	2,403,640
受取手形及び売掛金	3,917,750	3,460,607
電子記録債権	1,946,504	1,589,221
商品	3,900,971	3,870,848
貯蔵品	47,530	52,029
その他	105,144	94,511
貸倒引当金	△903	△724
流動資産合計	12,756,346	11,470,135
固定資産		
有形固定資産	2,133,665	2,449,393
無形固定資産	34,807	29,194
投資その他の資産		
投資有価証券	3,296,364	3,209,452
長期預金	300,000	300,000
その他	316,579	311,666
貸倒引当金	△3,485	△3,736
投資その他の資産合計	3,909,457	3,817,382
固定資産合計	6,077,930	6,295,970
資産合計	18,834,277	17,766,105

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,720,827	3,986,841
電子記録債務	314,311	265,145
短期借入金	2,209,510	2,207,732
未払法人税等	18,731	18,843
賞与引当金	149,230	74,655
その他	302,339	254,189
流動負債合計	7,714,951	6,807,407
固定負債		
退職給付に係る負債	258,251	255,543
資産除去債務	71,657	72,274
繰延税金負債	493,648	497,085
その他	197,297	154,062
固定負債合計	1,020,856	978,966
負債合計	8,735,807	7,786,373
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,627,951	4,609,695
自己株式	△293,972	△293,972
株主資本合計	8,773,211	8,754,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,148,624	1,076,207
為替換算調整勘定	176,633	148,569
その他の包括利益累計額合計	1,325,258	1,224,776
純資産合計	10,098,469	9,979,731
負債純資産合計	18,834,277	17,766,105



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,787,290	7,716,656
売上原価	6,182,267	6,156,432
売上総利益	1,605,023	1,560,224
販売費及び一般管理費	1,553,842	1,513,042
営業利益	51,181	47,181
営業外収益		
受取利息	2,717	1,635
受取配当金	37,378	44,256
為替差益	27	—
その他	8,680	4,374
営業外収益合計	48,803	50,266
営業外費用		
支払利息	11,460	11,986
為替差損	—	3,308
売上割引	1,777	1,861
その他	2,071	—
営業外費用合計	15,309	17,156
経常利益	84,675	80,291
特別利益		
固定資産売却益	—	86
特別利益合計	—	86
特別損失		
固定資産除売却損	164	3,264
事務所移転費用	—	2,721
特別損失合計	164	5,985
税金等調整前中間純利益	84,510	74,392
法人税、住民税及び事業税	7,340	7,154
法人税等調整額	40,225	28,736
法人税等合計	47,565	35,891
中間純利益	36,945	38,500
親会社株主に帰属する中間純利益	36,945	38,500

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	36,945	38,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249,780	△72,417
為替換算調整勘定	65,447	△28,064
その他の包括利益合計	315,227	△100,481
中間包括利益	352,172	△61,980
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	352,172	△61,980

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,782,016	—	7,782,016	—	7,782,016
その他の収益	—	5,274	5,274	—	5,274
外部顧客への売上高	7,782,016	5,274	7,787,290	—	7,787,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	301,433	4,271	305,705	△305,705	—
計	8,083,450	9,545	8,092,996	△305,705	7,787,290
セグメント利益	41,820	7,699	49,519	1,661	51,181

(注) 1. セグメント利益の調整額1,661千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,711,662	—	7,711,662	—	7,711,662
その他の収益	—	4,994	4,994	—	4,994
外部顧客への売上高	7,711,662	4,994	7,716,656	—	7,716,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	318,390	7,432	325,823	△325,823	—
計	8,030,053	12,426	8,042,479	△325,823	7,716,656
セグメント利益	34,982	10,377	45,360	1,821	47,181

(注) 1. セグメント利益の調整額1,821千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。